<学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業　取組事例>

教育振興運動

自治体名

岩手県平泉町

学校数

小学校　2校　　中学校　1校

震災後の地域の状況・仮設住宅数

平泉町では人的な被害はなかったものの、町立図書館等、社会教育施設における被害が生じた。また、放射線量等の影響もあり、特に子どもの健康・成長に関して心配する家庭も多い。（仮設住宅数0）

＜取組名＞　～地域で子育てを進める「教育振興運動」～

取組概要

実施形態（該当に○）	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	（連携している団体等・大学の名称）
		○		平泉町地域婦人団体、平泉老人クラブ連合会、町区長会、読み聞かせ団体等
実施主体・場所等	**コーディネーター数**	**ボランティア延べ人数**	**年間実施日数（回数）**	**活動場所**
	2人	約 1000 人	約 250 日	平泉小学校、長島小学校、平泉中学校、集落公民館ほか

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	○		○	○	（読み聞かせ団体　）
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
			○		（　　）
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○	○	○		（　　）
家庭教育・保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	○	○			（　　）
地域課題に応じた学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
	○		○	○	（　学習支援　）

＜取組の内容＞

◎趣旨：『郷土に誇りを持ち、明日の平泉を担う子どもたちを育もう』のテーマのもと、子ども、家庭、学校、地域、行政が相互に連携・協力し、より良い教育環境の整備・充実を目指す。

◎主な取り組み

1. 地域コミュニティの再生をめざし、各行政区（集落）でさまざまな世代を交え、体験を通じて「地域で子育て」を実践する交流活動を行っている。
2. 読書活動の推進を通じて豊かな心を培うため、いろいろな場面での「読み聞かせ」を実施している。また、家族ぐるみ・地域ぐるみで子どもを育てる観点から、「父親による本の読み聞かせ活動」にも取り組んでいる。
3. 郷土を理解し、郷土に対する誇りを継続して育てることを目的として、幼保・小・中における学習を系統化し、平泉の歴史や世界遺産の学習のほか、より身近な集落の歴史や伝統なども具体的に学んでいる。

取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

・ 当町においては大きな震災被害はなかったが、ライフラインが不通になり避難所を設けるなど対応した。また、福島第一原子力発電所の放射能問題により、農作物の収穫・出荷制限があり深刻な問題となった。公共施設の除染を終え、現在は私有地の除染支援、食材・給食の放射線量測定等を継続して実施している。

・ 防災の観点からも、地域コミュニティの再生には継続的に取り組む必要がある。

◇住民等からの要望・必要な取組

・ 近年、少子高齢化による子ども数・PTA会員数の減少などにより、子どもを中心とした地域活動が困難となっていた地区もあり、また、毎年役員が改選されることなどから、継続的・効果的な活動に至っていない状況となっていたが、震災後、改めて地域コミュニティの大切さが浮き彫りになり、地区や団体のリーダーなどから、教育振興運動の再構築が求められていた。

体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・ 推進組織／平泉町教育振興運動推進協議会

・ 構成団体／平泉小学校、長島小学校、平泉中学校、各校PTA、平泉町立幼稚園、平泉保育所、
長島保育所、平泉町公民館、平泉町立図書館、平泉町地域婦人団体協議会、
平泉町老人クラブ連合会、平泉町区長会、読み聞かせ団体

・ 役　　割／①子ども…「生きる力」を身につける。自ら学び、考え、主体的に判断・行動する能力を身につける
②保護者…家庭教育を充実させる、家庭での学習環境を整える、行事に積極的に参加する
③先　生…学校教育を充実させる、確かな学力を身につけさせる、地域行事に積極的に参加する
④地　域…地域社会の教育環境を整える、生活体験、社会体験、自然体験の場を設ける
⑤行　政…教育条件を整備・充実させる。広報活動。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

・ 地域の子どもと大人が一緒になって住みよい地域をつくっていくことを目的に、小学４年生～中学１年生の全児童生徒を対象に「地域活動に関するアンケート」を実施。

・ 実践区や町内全行政区（集落）のリーダー（行政区長、地区婦人会長、地区 PTA 会長など）を対象とした全体研修会を開催し、子どもたちの「地域活動に関するアンケート」の結果をもとに、グループワークを通じて、地域全体としてどのような活動ができるのかを話し合った。

成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

・ これまで親と子だけで取り組まれてきた活動に地域の方（お年寄りや婦人会など）が参加するようになるなど、地域コミュニティの再構築が進んできている。

・ 活動を通して、生まれ育った世界遺産の町・平泉に誇りを持ち、故郷を大切に思う気持ちを持つきっかけとなっている。

◇課題や今後の展望

・ 家庭に子どもがいる・いないに関わらず、地域の一員として運動に関わり、全町的な活動とすること。

・ 実践区に事務局機能を持たせ、地域と一体となった活動を展開すること。

・ 課題の掘り起こしや行事等の企画段階から子どもたちを参画させること。